

執筆者紹介（五十音順）

阿部 美香（あべ みか）人間文化学部・歴史文化学科非常勤講師

- 『ハーバード美術館 南無仏太子像の研究』中央公論美術出版 2023年（共編）
- 「宣陽門院の宗教空間におけるほとけとことば—東寺西院御影堂の中世的発展と貞慶の『舍利講式』をめぐって」（近本謙介編『ことば・ほとけ・図像の交響—法会・儀礼とアーカイブ』勉誠社 2022年）
- 「儀礼本尊としての六道絵—六道釈から読み解く聖衆来迎寺本六道絵」「六道釈資料三題—仁和寺本『六道釈』・青蓮院本『六道講式』・都率谷所伝本『六道式』—翻刻」（『美術研究』437号 2022年8月）
- 「九相図遡源試論—醍醐寺胎魔王堂九相図と無常講式」（『昭和女子大学女性文化研究所紀要』48号 2021年3月）

板垣 美玲（いたがき みれい）大学院生活機構研究科生活文化研究専攻修士課程修了生

- 「妙幢淨慧撰『大蔵抜鈔』について—江戸中期仏教教学研究の一例として—」（『昭和女子大学文化史研究』27号 2024年3月）
- 「浄土木食空無撰『十夜由来根元記』翻刻と解題」（『学苑』974号 2023年12月）（共著）
- 「浄土木食空無撰『大黒福德靈驗記』翻刻と解題」（『学苑』973号 2023年8月）（共著）
- 「妙幢淨慧撰『十善戒法論』影印と翻刻」宮島コレクション、2021年（共著）
- 「妙幢淨慧撰『戒法隨身記五戒章』『懺悔通用』翻刻と解題（一〜三）」（『学苑』958, 960, 965号 2020年8月, 10月, 2021年3月）（共著）

荻原 大地（おぎはら だいち）人間文化学部・日本語日本文学科専任講師

- 「高木折右衛門物実録『武道白石英』とその成長」（『愛知淑徳大学国語国文』45 2022年3月）

小倉 麻由子（おぐら まゆこ）国際学部・国際学科准教授

- 「SFCにおける多言語多文化社会構築に向けた高大接続のスペイン語教育—コロナ禍の下でのカリキュラム改革の経験—」（『慶應義塾外国語教育研究』第19号 2022年9月）（共著）
- 「SFCにおける多言語多文化社会構築に向けた、高大接続のスペイン語教育を目指して」（『KEIO SFC JOURNAL』Vol. 19 2020年3月）

加藤 恵里子（かとう えりこ）大学院生活機構研究科福祉社会研究専攻卒業生・慶應義塾大学病院

- 「三交替制勤務による、看護師の負担軽減に向けた取り組み」（『看護』日本看護協会 2022年11月）

GARCÍA, Carmen（ガルシ, カルメン）慶應義塾大学総合政策学部非常勤講師

- 「SFCにおける高大接続のスペイン語教育—多言語多文化社会構築に向けて」（『慶應義塾外国語教育研究』（第19号 2023年9月）（共著）

関口 静雄（せきぐち しずお）元 大学院生活機構研究科生活機構学専攻教授・本学名誉教授

- 「妙幢淨慧撰『古今舍利驗論』翻刻と解題（全三）」（『学苑』946号 2019年8月, 948号 2019年10月, 953号 2020年3月）
- 『律苑僧宝伝』昭和女子大学近代文化研究所 2007年（共著）
- 『招提千歳伝記』昭和女子大学近代文化研究所 2004年（共著）
- 『律苑僧宝小誌』昭和女子大学唐招提寺展小委員会 2000年
- 『順次往生講式小誌』葉文社 1992年

高橋 学（たかはし まなぶ）人間社会学部・福祉社会学科教授

- 「電子カルテをめぐるソーシャルワーカーの実践記録の考察」（『医療と福祉』114号 2024（共著））
- 「レスパイトケアにおける主観的な意味づけの検討」（『昭和女子大学大学院生活機構研究科紀要』2023（共著））
- 「医療ソーシャルワークの実践」『医療福祉入門』（株）みらい 2019
- 『スーパービジョン—対人援助監督指導論』（社）日本介護支援専門員協会 2009
- 「医療福祉の学問性と研究動向」『医療福祉学』（株）みらい 2002

高島 理恵（たかばたけ りえ）慶應義塾大学総合政策学部非常勤講師

- 「SFCにおける高大接続のスペイン語教育—多言語多文化社会構築に向けて」（『慶應義塾外国語教育研究』第19号 2023年9月）（共著）

長嶋 由紀子（ながしま ゆきこ）人間社会学部・現代教養学科非常勤講師

- 「フランス文化首都—自治体文化政策の持続的発展を促す文化の祭典」（『学苑』昭和女子大学紀要』975号 2024年3月）
- 『フランス都市文化政策の展開—市民と地域の文化による発展』美学出版 2018年

藤田 護（ふじた まもる）慶應義塾大学環境情報学部専任講師／政策・メディア研究科委員

- 「SFCにおける高大接続のスペイン語教育—多言語多文化社会構築に向けて」（『慶應義塾外国語教育研究』第19号 2023年9月）（共著）
- 「南米アンデス高地における先住民言語と口承文芸のいまと未来」（『口承文芸研究』2023年3月）
- 「口承の物語に現れる人間と動物の関係を読み直す—南米アンデス高地のアイマラ語と北東アジアのアイヌ語の物語テキストから」（『言語文化とコミュニケーション（シリーズ総合政策学をひらく）』慶應義塾大学出版会 2023年2月）
- 「「よく生きる（プエンビール）」という理念を問い直す—先住民の言葉と視点から何を学ぶことができるか」（『総合政策学の方法論的展開（シリーズ総合政策学をひらく）』慶應義塾大学出版会 2023年2月）
- 「新しい批判的多言語主義と多言語教育への含意—SFC／慶應における実践から」（『Keio SFC Journal』2020年3月）

PRIETO, María Verónica（プリエト, マリア ベロニカ）慶應義塾大学総合政策学部非常勤講師

- 「SFCにおける高大接続のスペイン語教育—多言語多文化社会構築に向けて」（『慶應義塾外国語教育研究』（第19号 2023年9月）（共著）

矢島 宏紀（やじま ひろき）国際学部・国際学科専任講師

- 「アメリカ建国と宗教的自由—ジョン・ローランドの反公定教会制論」（『学苑』955号 2020年5月）
- 「キリスト教の公定化か信教の自由か：建国期ヴァージニアの宗教と政治」（『アメリカ・カナダ研究』（上智大学）2019年3月）
- 「The Most Reactionary Loyalist? Jonathan Boucher in Revolutionary Chesapeake」（『Pacific and American Studies, vol. 12, March 2012』）